

「入退院時情報共有シート」についてのアンケート 訪問看護ステーション アンケート回収率67% 令和2年度12月調査

	1)「入退院時情報共有シート」 「訪問看護要約」を統一し 活用していることを知っているか	入院時における『訪問看護ステーションから医療機関へ』		遠賀中間地域内の情報連携において、統一して運用している書式である 「訪問看護要約」	
		2-1)実施について	2-2)③④⑤実施に至らなかった理由	3-1)使用について	3-2)その他意見
A	①知っている	②概ね送っている		①統一書式を使用している	
B	①知っている	①全ケースについて送っている		①統一書式を使用している	・捺印の必要性。
C	②知らなかった	②概ね送っている	・定期的(短期間)に同医療機関にレス パイト入院される場合。	②統一書式以外(事業所で作成したも の等)を使用している	
D	①知っている	①全ケースについて送っている		①統一書式を使用している	
E	①知っている	②概ね送っている		①統一書式を使用している	
F	①知っている	②概ね送っている		①統一書式を使用している	
G	①知っている	①全ケースについて送っている		①統一書式を使用している	
H	②知らなかった	①全ケースについて送っている		②統一書式以外(事業所で作成したも の等)を使用している	

「入退院時情報共有シート」についてのアンケート 訪問看護ステーション アンケート回収率67% 令和2年度12月調査

	『退院時情報共有シート』				
	4-1)退院に際しての情報提供について	4-2-1)退院後の活用状況について	4-2-2)①②どんな点が役立っていますか	4-2-2)③④活用されにくい理由	その他意見
A	⑤全く情報提供がない	④ほとんど活用できていない			・医療機関には共有シートが浸透されておらず周知徹底できていないと感じるが、別にそれを不便とも思わない。その病院独自のシートでも問題ない。
B	⑤全く情報提供がない	④ほとんど活用できていない			
C	②概ねのケース情報提供がある	① 大いに活用できている	・退院前カンファレンスが開催されない場合等は、利用者の全体像を把握する為に役立っている。		
D	②概ねのケース情報提供がある	① 大いに活用できている	・利用者の詳しい情報が得られる。薬や処置の仕方がわかる。カルテ作りに役立つ。		
E	④あまり情報提供がない	③あまり活用出来ていない		・退院後、情報共有シートがまわってこないことが多い。	
F	⑤全く情報提供がない	無回答			
G	②概ねのケース情報提供がある	②まあまあ活用できている			
H	無回答	無回答			

「入退院時情報共有シート」についてのアンケート 訪問看護ステーション アンケート回収率67% 令和2年度12月調査

5) 在宅(自宅)から高齢者等施設(特養・老健・有料老人ホーム・グループホームなど)への入所時					
	「訪問看護要約」での情報提供を行っていますか	①と答えた方: 特に留意されている点	②と答えた方: どのような施設に情報提供していますか	情報共有の必要性	意見
A	③要望時には情報提供している			a.必要	・在宅から直接施設入所になった時は、訪問看護要約を提供するが、在宅から一旦入院した後、施設の場合は医療機関へ提出するので、要望がない限り施設には提供していない。
B	④情報提供はしていない			a.必要	
C	③要望時には情報提供している			a.必要	・高齢者施設でも利用者が生活する上で個人が尊重される為、情報共有の必要性は高いと考える。
D	②入所施設によっては情報提供している		・老健、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム	a.必要	
E	無回答		・定期的にショート利用からの入所人の移行時は、情報提供していません。新規入所の方は送付しています。	a.必要	・医療の必要度の高い方への情報共有は必要と思われますが、その他の方はケアマネさん情報のみでもよいのかなとも思います。
F	②入所施設によっては情報提供している		・特養、老健、グループホーム	a.必要	・訪問看護時の介入や普段の状態など、入所後の維持看護において必要と思います。
G	①全ケース情報提供している	・本人の性格や家族関係等で注意した方が良い事などがあれば、特記事項として記載している。	・老健、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム	a.必要	
H	無回答			無回答	

6.連携体制充実に向けて

C	・遠賀中間地域で生活している高齢者の方々が、その人らしく生活できるようにサポートする為、医療と介護が格差なく連携する事は重要だと考えます。
---	---